全農統一フレコン・全農パレチゼーションシステム導入のご提案

〇全農統一フレコンの導入により、生産者段階でのフレコン調達コストが発生せず、環境負荷低減にも寄与します。
〇全農一貫パレチゼーションシステム（同一パレットによる庭先集荷・ＪＡ倉庫保管・輸送・精米工場納品）の導入により、紙袋の米穀を安定的に販売先にお届けします。

背景・ねらい

〇米穀の紙袋輸送は、出庫時および納品時の手積み・手卸し作業が長時間かつ重量物であるため、トラック運転手の大きな負担となっております。
〇全農統一フレコン・全農パレチゼーションを生産者段階から導入いただくことで、手荷役の大幅減少につながります。
〇物流コスト増加の抑制および安定輸送確保のために、手荷役のない物流にご協力お願いいたします。

全農統一フレコン

全農パレチゼーションシステム

特徴

全農統一フレコンの特徴

農林水産省の推奨規格に適合
農水省（農産物検査規格）の定めるフレコン推奨規格（1,080kg・方形・JISZ1651）に適合しています。

生産者の調達コスト無償
全農統一フレコンは販売先に使用料をご負担していただいているため※、生産者でのコストは発生しません。

全農パレチゼーションシステムの特徴

庭先集荷への活用
生産者へパレットを事前配布をすることができ、パレットを活用することで生産者段階での出庫時間の削減につながります。

ＪＡのパレット調達・管理コスト上限抑制
全農パレットを使用することにより、ＪＡのパレットの調達コストと管理コストの上昇抑制と手荷役がなくなることで物流コストの上昇を抑制します。

※原則として、主食用米の販売価格は包装込みではなく包装代を別建てとして取扱う場合とします。